

# 1. 調査報告概要表

作成日平成 19年 9月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	347 ( 評価機関で記入 ) 3474600206
法人名	特定非営利活動法人高齢社会を生きる会
事業所名	グループホーム「安田いこいの家」
所在地	広島県神石郡神石高原町安田677番地の1 (電 話) 0847-82-0560
評価機関名	西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成19年8月28日

## 【情報提供票より】(19年 7月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 1月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	9 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 10 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2階建ての	階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	11,700 円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	県立神石三和病院・水永医院・三原医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の中のグループホームとしての取り組みがなされており、入居者は家からどこかの施設に放り込まれたの印象はない。ホームが家庭の延長であるような仕組みが求められているが、その実現がここでは地域の中に自分達が過ごせる場所があると感じられた。(調査報告書12項参照)これからもこの方針を推し進められることを期待する。安い入居費を実現されているが、これもその方向での努力と感じられた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回と評価の方法が異なっているので比較は出来ないが、職員の声に評価と仕事の実態をよく把握して、よりよいホームにするための努力と意欲が見られた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	入居者の生活状況、入居者と地域のあり方などホームが地域にとけこむ努力をされており、地域密着型サービスとしてのホームを作る方向が見られる。小規模多機能型を計画されているがそれと一体となった運営を期待する。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を中心とした経営方針ではなく、地域の高齢者福祉の関係者などからの情報を取り入れた経営を進められている。高齢者問題を幅広く見ながらホームのあり方を考えておられる態度はこれからも大いに期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族は入居させているからあまり意見を出さないと思われるが、入居者が地域の中のホームとして馴染まれるよう努力しておられるので、これからもこの方針で進められることを期待する。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	中学生の訪問がありその状況が写真で飾られているが、このような活動は地域の祭りなどで展示されて、地域との結びつきをより多く進められることを期待する。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	定款に地域密着のサービスをうたっており、地域の人と結びついた運営となっている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	倫理綱領(行動指針)を定めており、職員はその内容をよく理解した仕事をしている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のボランティアグループの訪問や、地域の活動に参加しておられる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	経営者、管理者だけでなく職員もよく理解しており、グループホームを良くしていくための意見は進んで受け入れる姿勢である。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の人達の参加で行なわれており、ホーム運営のための地域の人々の意見を聞くようになっている。		会議のときだけに意見を聞くだけではなく、高齢者問題研究会などに参加しておられ、そこからの情報なども生かした取り組みをしておられる。

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町とはいつも連絡をとり、町の協力もある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者は全部町内からであり、家族は月1回以上の訪問があり、常に生活状況の報告相談はされている。手紙の毎月出しておられる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたときには話し合いがもたれており、また運営推進会議には家族の参加があり、意見を求めてホーム運営に反映されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開所以来職員の異動はない。		地域の中のホームとして、地域の人が職員として働いておられ、地域にとけこむ姿勢が見られる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場外の研修に全職員が勤務として参加しておられ、技能、意欲の向上に努められている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員連絡会や高齢者問題研究会に参加しておられ、地域の高齢者福祉施設とも交流がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ある入居者が”私はここに遊びに来ており、泊まりにきたの。楽しいよ。家に帰れば花を持ってこられるの”と話しておられた。</p>		<p>ホームの性格から入所が先行するが入居者にとっては地域の中で気安く過ごせる場所となる努力が見られ、これからもこの姿勢を期待する。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者と職員の会話は家庭的であり、会話が弾んでいる。ボランティアさんとの活動もある。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの特性をよく把握しておられ、意向を聞きながら対応しておられる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ここで生活できるよう職員と家族が相談し、介護計画をたてられている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しはきちんとされており、そのときは全職員および家族の意見を取り入れて行われている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域の中のホームとしての取り組み(12項参照)がされているので、これからの取り組みに期待する。		地域密着型サービスを20年3月から実施の計画があるので、それと一体となった取り組みを期待する。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	3箇所の医療機関と契約しておられ、今は連れて行く方向での利用をしておられる。		緊急時や重度化したときには医師からの訪問も必要となると思われる。(日ごろのかかりつけ医との関係が生じる。)
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の時のマニュアルを作り具体的な対応を進めておられる。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりの特性に合わせながら、プライバシーや誇りを大切にしたい取り組みが見られる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	習字を楽しむ人、琴を楽しむ人等入居者のペースに合わせた取り組みがみられる。		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員全員と一緒に食事は団欒の時間となっている。また準備や後片付けも家庭での協力といった雰囲気である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に6日(日曜を除く)入浴できるようになっており、入浴待ちといった雰囲気がみられる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	活動状況の写真があり、入居者がその内容の説明をしてくれた。ホームにいることの楽しみを感じて生活しているような説明で楽しく聞けた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	来てくれるボランティアさんと散歩に出かけたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は玄関に鍵はしていない。徘徊の人がいるが、職員と一緒に散歩することで帰られるようになった。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力で避難訓練を行っている。管理者は地域安全活動に協力をしている。		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックと記録をしておられる。8020運動の表彰を受けられた人もいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いローカーには椅子が用意されており、それに腰掛けて話をする人、テレビを見る人等リラックスした生活態度が見られる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、たんすなどの家具は各自が自分のものを持込んでいる。		